



お お と り ち ゅ う が っ こ う だ よ

大鳥中学校便り

だいじゅうごう
第十号

がくせい きょういく めくひき
学校教育目標

ゆたか こころ はく しやかい
～豊かな心を育み、社会とのかかわりを大切に～

よこはましりつ おおとりちゅうがっこう
横浜市立大鳥中学校

かん ことろ とく
〇感じる心(徳)

かんが ちから ち たい
〇考える力(知・体)

こうどう とりちゅうせい こう かい
〇行動する鳥中生(公・閑)

こうちょう しんじょう ひろし
校長 新庄 広

ねんせいしよくばたいけんがくしゅう

2年生職場体験学習

がつ にち もく にち きん
1月25日(木)～26日(金)



- 文部科学省は、小学校・中学校・高等学校で取り組む「キャリア教育」を以下のように定義しています。
- 人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」であるとされています。
 - 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育が「キャリア教育」です。

そのなかでも中学校の「職場体験」は大切な活動として「中学校職場体験ガイド」にまとめ、詳しく意義、やり方等が紹介されています。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/026/001/001.htm

第1章 職場体験の基本的な考え方

第2章 教育課程上の位置付けと学校における体制づくり

第3章 職場体験充実のポイント

第4章 学校と地域・関係行政機関等との連携・協力

第5章 事業所と学校との連携・協力

第6章 家庭と学校との連携・協力

学校長として、職場体験学習を行った生徒達を見ると、第1章(3)職場体験の意義で述べられている「4.学校と社会をつなぐ場」が最も教育的な意味があるのではないかと思います。

「生徒は、職場体験を通して、学校での学習が社会でなぜ大切なのか、どのように役立つのか、実際に仕事をしていく上でどのように用いられるのかを知ることができる。それは同時に、現在の学習と将来の職業生活との関係を理解し、目的をもって学習に取り組む上での重要な契機ともなる。「働くこと」から疎遠になりがちな今日の子どもたちにとって職場体験は、こうした現状を打開し、体験を通して学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感をもって理解していくという大きな役割がある。」

今、学んでいることが単なる机上のものではなく、実社会で必要なことであると分かった生徒たちは、今の学びに自信を持ち、明日からの学校生活にますます希望を持つようになります。

地域の皆様、大鳥中学校の生徒をそれぞれの職場にお迎えいただき、誠にありがとうございました。皆様の教育力のおかげで生徒たちは大きく成長して帰ってきました。キラキラとした瞳が充実した活動であったことを物語っています。

紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも地域の子どもとして大鳥中学校の生徒をご指導ください。よろしくお願いたします。

職場体験学習を終えて

2学年職員 尾形 唯

1月25日(木)～26日(金)の2日間、2年生は職場体験学習を実施しました。全48箇所にも及ぶ横浜市内の事業所が受け入れてくださり、無事に終わることができました。体験中は普段の学校生活での姿と違って、働く立場である責任感を感じながら真剣に話を聞き、取り組む姿勢が見られました。また、職員が各事業所に行かせていただき、担当者の方に「どうですか?」とお聞きすると、「よく気が付く、周りが見えている生徒さんですね」「明るく挨拶ができて、覚えもとてもいいです」といった褒めの言葉をたくさんいただきました。とても誇らしく、嬉しく思いました。

子どもたちは「とっても疲れた!」と言いながらも、きらきとした笑顔からは充実した時間を過ごすことができたのがよく伝わってきました。働くことの大切さや苦労・楽しさを知ることができた、そして様々な方が一生懸命に働いているからこそその日常生活があることに気付いた、この貴重な体験を自分たちの糧として宝物にしてみたいと思います。

1月に行われた行事から

学校巡回公演事業（能楽鑑賞）

1月17日（水）、観世会の能楽師をお招きし、体育館にて能「安達原」を上演していただきました。これまで能楽については、音楽科や社会科の教科書などでしか目にしたことがない人も多かったのではないのでしょうか。実際に目の前で聞く能楽師の発声と楽器の音、能面をかけたシテ方の舞に驚きと衝撃を受けたことと思います。能楽の説明や上演目の解説もあり、約700年にわたって受け継がれている貴重な伝統芸能に触れることで、豊かな感性を育むことにつながりました。



「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）」による中学校体験入学

1月17日（水）～19日（金）の3日間、独立行政法人国際協力機構（JICA）より委託を受けた公益財団法人海外日系人協会主催の上記プログラムにおき、中南米の国々に住む日本にルーツをもつ6名の生徒が1・2学年の各クラスに体験入学しました。授業を受け、給食を食べ、部活動にも参加。日本語学校に在籍しているため、日本語も堪能。昔から大鳥中学校で生活していたかのように仲良く話をしている姿は「地球はひとつ!」「人の心に国境はない!」等の言葉が実感できました。



中区個別支援学級合同同学芸会

1月25日（木）、西公会堂にて中区個別支援学級合同同学芸会が実施されました。大鳥中学校は、プログラムの大トリを飾る、ダンス「打ち上げよう祝福のヒバナを」を披露しました。「打ち上げ花火」「祝福」の2曲は別々に分かれ、最後の「ヒバナ」はみんなで踊りました。緊張感のある中でしたが、練習の成果をしっかりと発揮し、やり切ることができました。

